

(ロ)支那紙の一致せる意見は英・米・佛三國が日本の脅迫に對して強硬な態度を執ることを勸告してをり、右三箇國の協同行爲のみが現在の紛争を鎮壓することが出来ること述べてゐる。支那紙は上海共同租界及びフランス租界の治安は元來よく維持されて來たのであるから治安攪亂に對する責任は共同租界の安全を脅威してゐる許りでなくその行政權をも掌握せんと試みてゐる日本がすべて負ふべきであること指摘してゐる。又日本側の海南島侵入及び深川爆撃と同様に日本の威嚇は何時共同租界を掌握するかを決定するに先立ち各國の反響を試験するものであること述べ、日本が租界を破壊的な支那破壊の根據地として使用したことを指摘し、若し工部局が不逞分子の根絶を欲するならば先づ日本側のテロ組織を一掃し漢奸達を追放しなければならぬこと主張し、又上海のテロリストは日本側の浪人或は日本側に雇はれた白係ロシア人や朝鮮人で彼等は外人記者の殺害、誘拐、脅迫に従事し、又支那人を暗殺し、支・外人の肢體を斬り離してテロを行ひ、更に婦人を含む外人を公然と凌辱してゐる。斯る犯行の指導本部は蘇州クリーク北方虹口の新アジア・ホテルの日本軍司令部内に在り、日本軍特務機關が事件の黒幕であること述べてゐる。尙支那紙は日本側の要求拒絶によつてのみ租界の治安が維持せられ、又工部局の強硬な態度を支持することによつてのみ英米佛三國は極東に於ける彼等の投資權益を擁護し得るのであるから、上海工部局は不逞なる日本側の要求に屈服すべきではないこと警告してゐる。

内閣情報部三・四 情報第一號

在歐帝國大公使會議と英紙

同盟内報「秘」

ロンドン二日發(同盟)

自由黨系のニュース・クロニクル紙は二日日本の在歐大公使がベルリンに於いて防共協定の軍事同盟化問題につき意見を交換する豫定である旨次の如く報じてゐる

「在歐日本大公使は三日ベルリンに參集して、未だ調印を了してゐない日獨伊三國同盟をソヴェト聯邦以外英、佛並びに米の三國をもその目標とすべきか否かにつき協議を遂げることとなつた。日本は無暴な對支行動によつて生ずべき結果を怖れソヴェト聯邦並びに民主主義諸國に對抗する鐵の戦線を結成するため益々躍起となつて努力してゐるが、歐洲の樞軸國家たる獨伊は最近再び同盟締結を濫り出した模様である」

重慶日本語放送（二日）

（東京都市電信局聴取）

- 一、大阪に於て軍用倉庫が爆發、火を發した、昨日午后三時大阪某區の軍用倉庫が爆發した、午后五時に到るも引續き爆發延焼中である、原因は今の處不明である、
- 二、重慶に於て朝鮮獨立黨の第二十周年が行はれた、本日の時事新聞に依れば昨日市黨部に於て朝鮮獨立黨二十周年記念祭が行はれ重慶在任の朝鮮人二百名參集した、先づ奏樂の後革命烈士の追悼の辭があり更に報告演説があつた、次で反日運動宣言、決議、前線に於ける抗日朝鮮兵士宛の慰問文等を可決した、演説に於ては朝鮮革命黨は飽く迄闘争を續け、中國の抗爭に参加して日本帝國主義を打倒し朝鮮の自由獲得に邁進するであらうと強調された、
- 三、中國〇〇軍の昨年十二月より一月末迄の戦闘結果、日本軍一萬人を全滅一、六〇〇名を生捕る、十二月分を述べるに日本軍と戦を交ふること大小一〇二回、日本軍死者三、七四三人、捕虜日本軍五四五人、偽軍八八二人鹵獲品、軍馬一二三頭、驢馬三九七頭、歩兵銃一、七四五、ピストル四三、輕機銃四一、重機銃三、軍用自動車四、自動車八、電話破壊二回、五萬余斤の雷線を奪去つた、鐵道破壊三十七回橋梁破壊八、列車破壊八、自動車破壊十九、一月分は日本軍と戦を交ふこと大小一五四回中國人はレール破壊三三、死者日本

115